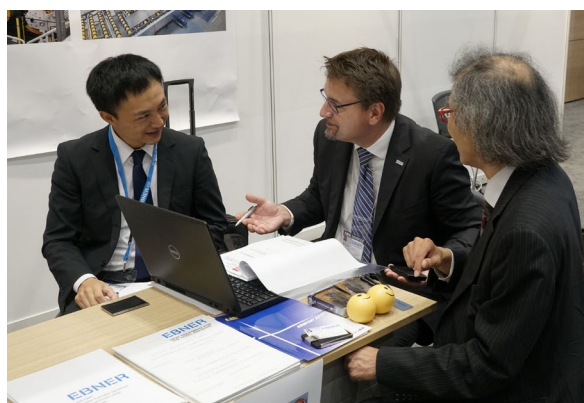
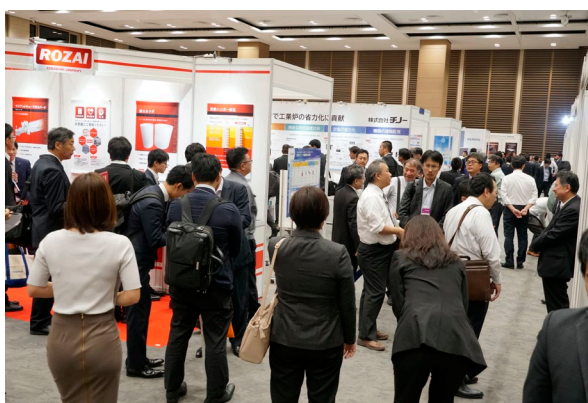


## 工業炉・熱処理技術の最先端製品や技術が一堂に集結！

2024年10月10日(木)～11日(金)「サーマルテクノロジー2024」開催

「サーマルテクノロジー2024 第5回工業炉・関連機器展 & シンポジウム」(主催:一般社団法人日本工業炉協会 会長:高橋慎一、オーガナイザー:メッセフランクフルト ジャパン株式会社 代表取締役社長:梶原靖志)が2024年10月10日(木)～11日(金)の2日間、グランフロント大阪 北館 ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンターにて開催されます。工業炉と関連機器の製品・技術展示会およびセミナー発表と講演会で構成する関西からの情報発信イベントとして、今回は93社・団体が出展し、前回は上回る3,500名の来場が見込まれています。本イベントは、工業炉・熱技術、関連機器の展示を通じたパートナーシップの創出や、講演およびプレゼンテーションが新たなアイデアや最先端技術を発表する場として活用されています。



「サーマルテクノロジー2019」会場の様子(左)と商談の様子(右)

### ■素形材を支援する政策や企業の循環型社会の構築に向けた取り組みを紹介

多彩な著名人を講師に迎えた講演を2日間で合計4本開催します。基調講演では経済産業省 製造産業局素形材産業室長の星野昌志氏が、エネルギー・環境対策およびデジタル化の進展を含むさまざまな社会課題への対応や、工業炉など素形材産業の技術・経営面での取組を支援する政策について講演します。特別講演では株式会社本田技術研究所 代表取締役社長の大津啓司氏や大阪ガス株式会社 経営企画本部 企画部 カーボンニュートラル推進室 室長の栗原(くわはら)洋介氏が、カーボンニュートラル実現に向けた取り組みを研究内容や具体例を交えてお届けします。元内閣官房参与で一般財団法人産業遺産国民会議 専務理事の加藤康子氏は、日本の危機における底力と少子高齢化の未来への活路について話します。聴講は無料ですが、各講演とも公式サイトからの事前申込が必要です。

## ■出展者がプレゼンテーション「製品・技術発表会」

出展者自らが最新技術や課題解決に向けた取り組み、サービスなどを紹介します。「製品・技術発表会」は会場内の3つのセミナールームで計16本開催します。事前申込は不要、無料で聴講いただけます。ここでしか聞けない最新情報が満載です。

## ■「熱処理相談コーナー」では専門の相談員が無料で相談を受付

一般社団法人日本熱処理技術協会と一般社団法人日本金属熱処理工業会による、一般熱処理、浸炭熱処理、窒化処理、高周波処理などの熱処理技術の無料相談を行います。開設時間は2日間ともに11:00-13:00と14:00-16:00です(予定)。各専門分野の相談対応時間は公式ウェブサイトでご確認ください。

## 来場に関するお申込み・お問合せ先

サーマルテクノロジー事務局

メッセフランクフルト ジャパン株式会社

〒102-0071 東京都千代田区富士見 1-8-19 住友不動産千代田富士見ビル 4F

Tel 03-3262-8456 / Fax 03-3262-8442

[visit@thermaltechnology-expo.com](mailto:visit@thermaltechnology-expo.com)

[www.thermaltechnology-expo.com](http://www.thermaltechnology-expo.com)

## ■報道関係者からのお問合せ先

メッセフランクフルト ジャパン株式会社

プレス担当: 小田島/加来

E-mail [press@japan.messefrankfurt.com](mailto:press@japan.messefrankfurt.com)

Tel 03-3262-8453 / Fax 03-3262-8442

Web [www.jp.messefrankfurt.com](http://www.jp.messefrankfurt.com)

## メッセフランクフルトについて

メッセフランクフルトは、800年以上にわたり見本市会場として親しまれるドイツ・フランクフルト市に本社を構える世界最大級の国際見本市主催会社です。約40万平方メートルの見本市会場を所有し、同社株の60%をフランクフルト市、40%をヘッセン州が保有しています。グループ全体では世界中に28の拠点と約2,300人の従業員を有しており、世界各地の約180カ国をカバーするグローバルネットワークは、メッセフランクフルトの強みの1つです。2023年のグループの売上高は約6.1億ユーロとなり、顧客のビジネス拡大に貢献しました。また、「サステナブル経営」を企業戦略の中核に置き、環境保全、経済活動、多様性と社会的責任などの観点において持続可能な状態を実現する経営を実践しています。見本市主催事業以外にも会場の貸出、施工、マーケティング、スタッフサービスやケータリングなど、オフラインとオンラインを合わせた包括的かつ幅広いサービスを提供し、顧客のニーズに合わせてビジネスをサポートしています。詳細は公式ウェブサイトをご覧ください。[www.messefrankfurt.com](http://www.messefrankfurt.com)